

検査内容変更等のご案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り、誠に有り難く厚くお礼申し上げます。
この度、下記の検査項目について内容を変更いたしますので、ご案内申し上げます。
また、血液検査カラー報告書の内容について一部変更いたしましたので併せてご案内申し上げます。
今後とも当検査センターをご利用下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。

記

●変更内容

項目コード	検査項目名	変更内容	変更期日
1601	炭酸リチウム	測定方法、外部検査 ⇒ 内部検査	平成29年4月3日(月) 受付分より
特異的IgE定量(シングルアレルゲン)		外部検査 ⇒ 内部検査	平成29年4月3日(月) 受付分より
3396	α-ラクトアルブミン		
3397	β-ラクトグロブリン		
3326	大麦		
3353	オレンジ		
3419	すいか		
3411	マンゴ		
3414	洋なし		
3458	セキセイインコのふん		
3459	セキセイインコの羽毛		
3301	ミツバチ		

●新規受託項目

項目コード	検査項目名	主な測定目的
656	百日咳核酸 LAMP	後鼻腔拭い液から抽出された百日咳菌ゲノムDNAの検出 (百日咳感染の診断補助)

●血液検査カラー報告書の内容変更について(平成29年4月3日受付分より)

人体図入り検査報告書の掲載検査項目を増やしました。

※詳細については次頁以降をご覧ください。また、ご不明な点がございましたら、ご連絡下さい。
(担当：検査課 中田、河島 検査室直通電話番号076-239-3832)

●炭酸リチウムについて

炭酸リチウムは双極性障害（躁うつ病）有効な治療薬であり、気分安定剤やうつ病における増強療法などにも広く用いられている。有効血中濃度と中毒を生じる血中濃度が近いことから、リチウム中毒の発現を防止するため、血中濃度維持管理に注意が必要な薬剤です。

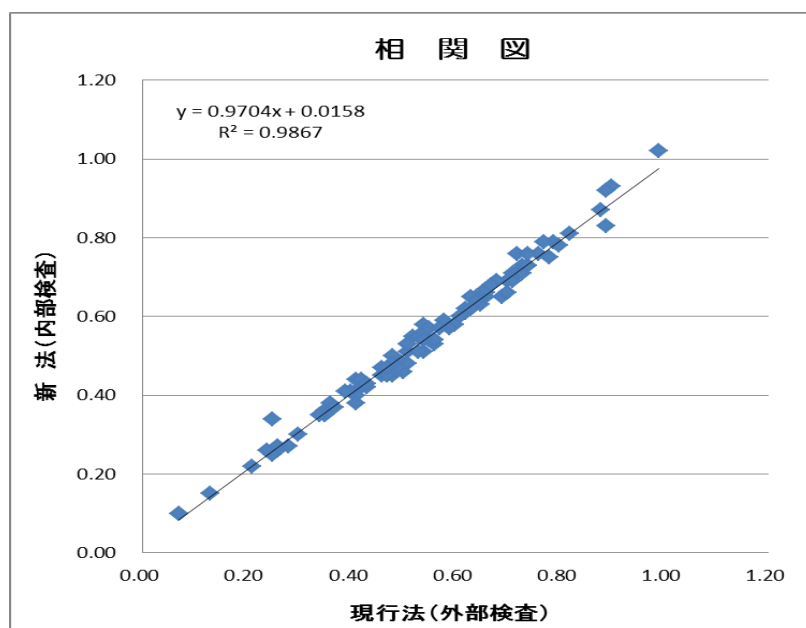
2012年4月に医薬品医療機器総合機構（PMDA）から医薬品適正使用の願いとして「炭酸Liによる重篤な中毒と血中濃度測定の実践について」が報告され、定期的な血中濃度モニタリングをすることによりLi中毒を避け、適正な治療を行うよう注意喚起されています。

●変更日：平成29年4月3日（月）受付分より変更

●変更内容および検査要項

	新 法	現 行 法
検査項目名	炭酸リチウム	同 左
項目コード	1601	同 左
検査材料	血清0.5mL	同 左
採血容器	PO（分離剤なしプレイン管）	同 左
測定方法	比色法	原子吸光分析法
治療濃度範囲	0.6~1.2mEq/L	同 左
報告桁数	小数点以下第2位	同 左
実施料/判断料	特定薬剤治療管理料	同 左
所要日数	1~2日	3~5日

●相関図



特異的 IgE 定量(シングルアレルゲン)

総合臨床検査案内 50・51 頁掲載

当検査センターでは平成 28 年 2 月 1 日より、非特異的 IgE および特異的 IgE(シングルアレルゲン 75 種類とマルチアレルゲン)を内部検査としました。

この度、外部委託検査としていました下記のシングルアレルゲン 10 種類を新たに内部検査とすることにいたしました。

●変更日：平成 29 年 4 月 3 日（月）受付分より変更

●変更内容および検査要項

	新 法			現 行 法
項目コード・略語・ 検査項目名	3396	F-76	α-ラクトアルブミン	同 左
	3397	F-77	β-ラクトグロブリン	
	3326	F-6	大麦	
	3353	F-33	オレンジ	
	3419	F-329	すいか	
	3411	F-91	マンゴ	
	3414	F-94	洋なし	
	3458	E-77	セキセイインコのふん	
	3459	F-78	セキセイインコの羽毛	
	3301	ト1	ミツバチ	
検査材料	血清 0.3mL			同 左
採血容器	AO (汎用血液真空採血管分離剤入り)			同 左
実施料/判断料	110 点/免疫学検査 144 点			同 左
所要日数	1~2 日			3~5 日

百日咳核酸 LAMP

(既に受託開始しています)

百日咳は百日咳菌の気道感染によって、引き起こされる急性(気道)呼吸器感染症です。ワクチンにより、予防可能な疾患ですが、年長児や既ワクチン接種者では非典型的な症状が多く、診断が困難となるケースが少なくありません。本検査は、LAMP 法を用いており、感度と特異度が高く、迅速に百日咳菌の核酸検出が可能であるため、他の呼吸器系疾患との鑑別や百日咳の早期診断等に有用な検査として、期待されています。

●変更内容および検査要項

検査項目名	百日咳核酸 LAMP	所要日数	3~5 日
項目コード	656	検査方法	LAMP 法
検 体	後鼻腔ぬぐい液	基準値	陰性
容 器	専用容器※1	検査実施料	360 点(D023「微生物核酸同定・定量検査」)
保存方法	凍結(冷蔵でも可)※2	判断料	150 点(微生物学的検査判断料)
備 考	後鼻腔ぬぐい液は、必ずブロックスワブ(VS4)で採取し、滅菌スピッツ(BO)にスワブを入れて冷凍保存してください。他項目との重複依頼は避けて下さい。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取扱いに十分ご注意ください。		

※1：ご入用の際は、当検査センター検査課担当(電話 276-239-3832)にお尋ね下さい。

※2：検体の安定性は凍結保存で 21 日間、冷蔵保存で 14 日間です。

